教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No. 4 令和6年7月1日

7月に入り、1学期も残りわずかとなりました。先月も「自分たちの学校は自分たちでよりよくする」という意識で、高学年の委員会活動や学級毎の「あいさつ運動」等において、子供たちなりに工夫した取組がたくさん見られました。今後も、係活動や当番活動、委員会・クラブ活動といった特別活動の領域で、子供たちの活躍がたくさん見られることを期待しています。

【英語教育の充実】

伊勢崎市の学校教育の特色の一つに「英語教育の充実」があります。市内すべての小学校が 文部科学省の教育課程特例校として認められ、「全学年週2時間の英語科授業」を実施してい ます。

通常の教育課程では、外国語の学習は、3,4年生から「外国語活動」として週1時間行い、5,6年生は外国語(英語)として週2時間行うところですが、本市では1年生から週2時間の英語科としての学習を積み重ねていきます。ですので、伊勢崎市の小学校では、他市町村の学校と比べ、英語を学ぶ時間が圧倒的に多く、内容も「伊勢崎市小中一貫英語力向上プログラム」に基づいて、小中9年間を見通した系統的な学習となっています。

実際の時間割では、 $1 \sim 4$ 年生は「本科英語」の1時間(担任とイングリッシュサポーターのティームティーチング)と昼のPUT(パワーアップタイム)の「モジュール英語」(担任による15分の短時間学習を週3回実施(15分×3回)で1時間)をあわせて週2時間の英語学習を実施。5,6年生は時間割に2時間の英語を位置付けて、担任がALTと協力しながら実施します。

英語教育の目的は、子供たちが全人的に成長し、グローバル社会において主体的に生きていく資質や能力を身に付けることです。単に能力や技能といったスキルの習得だけではなく、コミュニケーションの体験を通して、異文化を理解し、国際社会に貢献できる子供たちの育成を目指していきます。

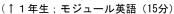






(↑5年生;担任とALTのティームティーチング、友だちと英語で会話練習)









(↑1年生;本科英語(担任とイングリッシュサポーターとのTT)

【読解力向上に向けて ~新聞記事を読み解く取組を通して~】

読解力(文章や図表を読み解く力)の育成が求められています。本校では今年度、6年生がパワーアップタイムの時間に、読売新聞社の新聞記事を使った教材を用いて、言語能力や情報活用力、論理的思考力を伸ばす取組を行っています。

私たちは日頃、スマホやインターネットで自分の読みたいものを検索して読むことが多いですが、そこでふれるのは自分に関心があり、読み心地のよい文章が多いのが現状です。そこで、旬のニュースを題材とした教材(記事)に幅広くふれることで、社会への興味・関心も高まることが期待できます。社会に関心を持ち、「このことを自分はどう考えるのか」と自問し、少しずつ視野を広くすることが、社会参画の意識を高めることにもつながります。

4月からこれまで、「セルフレジ増加」「ゆうパック・速達 到着遅く」「高齢者住民の車 乗り合い」「肉不足 新食品で代替」といった教材(記事)を扱いました。大人が読んでも「なるほど」と感じる教材(記事)だと感じます。

この取組を積み重ねる中で、読解力の向上(「大切な所を探す読み方ができるようになった」「文章や資料を読む時に、必要な語や文を探したり、文章や段落同士の関係を考えたりしながら読むようになった」と感じる子供が増えること)、そして社会への関心が高まることを期待しています。(写真下;6年生「よむYOMUワークシート」に取り組む様子)





【健康診断を終えて】

保護者の皆様のご協力を得て、今年度の定期健康診断は予定どおり実施することができました。ありがとうございました。子供たちが健康に健やかに育ってほしいという願いは、皆同じです。今後も学期始めの発育測定等がありますが、引き続きよろしくお願いします。

「受診のすすめ」が届いた場合は、医療機関に 早めの受診をお願いします。

ところで、学校における健康診断は、学校保健 安全法に基づいて、毎学年6月末までに実施する ことになっています。「学校での集団健診」とい う形を取り、治療できる病気を少しでも早く見つ け(早期発見)、医療につなげることで子供たち の健康を守る制度です。

また、この健康診断を通して、子供たち自身が 体のことを正しく知り、健康でいるためにはどう



したらいいかを考える力を身に付けてほしいと願い、養護教諭が保健室から様々な情報を発信 したり、保健委員会の子供たちも様々な掲示物を作成して全校児童に呼びかけを行っています。 「知・徳・体」の調和、バランスが大切です。引き続き、健康教育も充実していきます。